

sheep erythrocytes for use in virus complement fixation tests, *Acta Medica et Biologica* 29: 29-32, 1981.

8) Niwayama S., Shibata M., Ochiai H., Hayashi K., Motoda S., Sato S. and Iwase I.: Antigenic analysis of influenza virus A and B, 1980, *Acta Medica et Biologica* 29: 47-57, 1981.

9) 斉藤由紀, 芝田充男, 阿部昭也, 庭山清八郎, 落合 宏: パラインフルエンザウイルスの中和抗体価と血球凝集抑制抗体価との比較および新潟県内住民の年齢別抗体調査成績, *衛生検査* 30: 1064-1067, 1981.

10) 庭山清八郎, 落合 宏, 元田昭策, 佐藤征也, 林 京子, 芝田充男, 阿部昭也, 斉藤由紀, 岩瀬勇雄: トリ型インフルエンザウイルスの抗体分布について, *新潟医学会雑誌* 95: 617-621, 1981.

11) 落合 宏: インフルエンザウイルスの精製 HA の性状について, *新潟医学会雑誌* 95: 739-744, 1981.

12) 佐藤征也, 元田昭策, 田口 盛, 徐慶一郎, 岩瀬勇雄, 庭山清八郎, 芝田充男: 新しい抗原抗体測定法: 補体フィルム膜を用いた Single Radial Complement Fixation (SRCF) 試験法について 1. インフルエンザウイルス抗体価の測定, *臨床とウイルス* 9: 479-482, 1981.

13) 元田昭策, 佐藤征也, 岩瀬勇雄, 落合 宏, 庭山清八郎: 赤血球凝集(HA)ならびに同抑制(HI)試験に用いる赤血球の新しい固定法, *ウイルス* 31: 165-166, 1981.

◆ 学会報告

1) 佐藤征也, 元田昭策, 徐慶一郎, 岩瀬勇雄, 芝田充男, 庭山清八郎: インフルエンザワクチン接種効果とその新しい判定法について, インフルエンザワクチンに関する Round Table Discussion, 日本ウイルス学会, 1981. 6, 東京. *ウイルス* 31: 174, 1981.

2) 佐藤征也, 元田昭策, 庭山清八郎, 徐慶一郎, 岩瀬勇雄: インフルエンザワクチン接種効果についての新しい判定法, 第3回北陸ウイルス病研究会, 1981. 8, 金沢.

3) 芝田充男, 岩瀬勇雄, 落合 宏, 佐藤征也, 元田昭策, 庭山清八郎: 1981年分離の A (H_1N_1) 型, A (H_3N_2) 型および B 型インフルエンザウイルスの抗原分析, 第29回日本ウイルス学会総会, 1981 10, 東京.

4) 佐藤征也, 元田昭策, 芝田充男, 庭山清八郎,

田口 盛, 徐慶一郎, 岩瀬勇雄: 補体フィルム膜を用いた一元放射補体結合反応 (SRCF) に関する研究 2. インフルエンザワクチン接種前後における抗体測定への応用, 第29回日本ウイルス学会総会, 1981. 10, 東京.

5) 佐藤征也, 元田昭策, 落合 宏, 庭山清八郎, 芝田充男, 徐慶一郎, 岩瀬勇雄: SRCF によるマイコプラズマの血清学的診断法, 第18回日本細菌学会中部支部総会, 1981. 11, 金沢.

6) 芝田充男, 岡尾勇一, 庭山清八郎, 落合 宏, 岩瀬勇雄: インフルエンザウイルスの NA 抗原分析— N_1 型ウイルスの交差 N_1 試験成績—, 第18回日本細菌学会中部支部総会, 1981. 11, 金沢.

7) 庭山清八郎, 落合 宏, 林 京子, 元田昭策, 佐藤征也, 岩瀬勇雄, 芝田充男: インフルエンザウイルス HA の細胞に及ぼす影響について, 第18回日本細菌学会中部支部総会, 1981. 11, 金沢.

8) 芝田充男, 阿部昭也, 庭山清八郎, 落合 宏, 岩瀬勇雄: 1981年分離の swine 型インフルエンザウイルスと豚の抗体調査成績, 第18回日本細菌学会中部支部総会, 1981. 11, 金沢.

薬 理 学

教 授	中 西 穎 央
助 教 授	武 田 龍 司
助 手	百 瀬 弥寿徳
助 手	山 崎 弘 美
文部技官	西 口 慶 子

◆ 著 書

1) 中西穎央: アルコール代謝ならびにアルコールの代謝効果, 370-382, 生化学的観点からみた薬理学, 北川晴雄, 栗山欣弥編, 理工学社, 1981.

◆ 原 著

1) Shiohara E., Tsukada M., Yamazaki H., Nishiguchi K. and Nakanishi S.: Sex differences in and effects of dietary restriction on aldehyde dehydrogenase activity of rat liver. *Jpn. J. Alcohol & Drug Dependence* 16: 204-210, 1981.

2) Shiohara E., Tsukada M., Yamazaki H., Nishiguchi K., Miyamoto R. and Nakanishi S.: Acetaldehyde oxidizing activity in the rat brain. *Jpn. J. Alcohol & Drug Dependence* 16: 341-348, 1981.

3) Takeda R., Momose Y. and Shiohara E.:

Effects of ethanol and acetaldehyde on the cardiovascular and central nervous systems in rabbits pretreated with trichloroethylene. *Jpn. J. Alcohol & Drug Dependence* 16: 349-357, 1981.

4) Momose Y. and Takeda R.: The inhibitory action of acetaldehyde on the tonic component of the potassium-induced contracture in the guinea-pig taenia caeci. *Arch. int. Pharmacodyn.* 254: 123-135, 1981.

◆ その他

1) 中西穎央: アルコールの代謝, 肝胆膵 2: 19-26, 1981.

◆ 学会報告

1) 武田龍司, 百瀬弥寿徳: モルモット精管における交感神経伝達に対するアセトアルデヒドの促進作用, 第54回日本薬理学総会, 1981. 3, 福岡.

2) 山崎弘美, 西口慶子, 中西穎央: マウス肝アルデヒド脱水素酵素の電気泳動的性質とアルコール嗜好性について, 第54回日本薬理学会総会, 1981. 3, 福岡.

3) Takeda R. and Momose Y.: Inhibitory action of ethanol on the neuromuscular transmission in the guinea-pig vas deferens. 8th International Congress of Pharmacology, 1981. 7, Tokyo.

4) Yamazaki H., Nishiguchi K., Ogita Z. and Nakanishi S.: Alcohol preference and mouse liver mitochondrial aldehyde dehydrogenase. 8th International Congress of Pharmacology, 1981. 7, Tokyo.

5) Giles W., Hume J.R., Momose Y. and Szabo G.: Acetylcholine-induced outward current in voltage-clamped bullfrog atrial cells. The Physiological Society Meeting in Oxford, 1981. 7, Oxford.

6) 武田龍司, 樋 彰: 脊髄反射電位に対するアセトアルデヒドの作用, 第32回日本薬理学会北部会, 1981. 9, 山形.

7) 山崎弘美, 西口慶子, 宮元玲子, 中西穎央: 各種肝疾患における肝アルデヒド脱水素酵素活性, 第32回日本薬理学会北部会, 1981. 9, 山形.

8) 山崎弘美, 西口慶子, 宮元玲子, 中西穎央: ヒト肝アルデヒド脱水素酵素の電気泳動法による解析: 肝生検標本についての研究, 第16回日本アルコール医学会総会, 1981. 10, 東京.

保 健 医 学

教	授	渡	辺	正	男
助	教	鏡	森	定	信
助	手	濱	田	優	仁
助	手	成	瀬	一	知
文部事務官		越	崎		美

◆ 原 著

1) Watanabe M. and Sugahara T.: Experimental formation of cleft palate in mice with polychlorinated biphenyls (PCB). *Toxicology* 19: 49-53, 1981.

2) Kagamimori S., Williams W.R. and Williams W.J.: Effect of beryllium exposure on PPD cellular immunity in guinea pigs. *Industrial Health* 19: 139-144, 1981.

3) Kagamimori S.: Occupational life tables for cerebrovascular disease and ischemic heart disease in Japan compared with England and Wales. *Jpn. Circul. J.* 45: 195-201, 1981.

4) 大八木重郎, 鏡森定信, 戸田弘一: 石綿暴露の指標とされる胸膜肥厚頻度の比較研究—間接X線フィルムによる都市と農村の比較—, 産業医学 23: 366-376, 1981.

5) 鏡森定信, Williams R.W., 樽井英夫, 宮本宣良, 成瀬優知, 渡辺正男, 新村哲夫: ヒト培養リンパ球機能に対するカドミウムの影響— β_2 ミクログロブリン産生と ^3H -チミジン摂取の検討—, 北陸公衛誌 8: 7-13, 1981.

6) 鏡森定信, Williams R.W., 新村哲夫, 渡辺正男: 食細胞機能と環境要因—Iタイ・Iタイ病患者および要観察者における Nylon Column Dye Test の検討—, 富山県農村医学研究会誌 12: 74-78, 1981.

7) 渡辺正男, 鏡森定信, 成瀬優知: Iタイ・Iタイ病の発症に関する追跡調査, 環境保健レポート No.47: 225-228, 日本公衆衛生協会, 1981. 10.

8) 渡辺正男, 鏡森定信, Williams R.W., 新村哲夫: Iタイ・Iタイ病患者および要観察者リンパ球の β_2 ミクログロブリン産生能の検討, 同上: 225-228.

9) 岩田 隆, 西野治身, 新村哲夫, 庄司俊雄, 田中朋子, 城石和子, 村瀬 均, 渡辺正男: マウスのカドミウム長期経口投与における妊娠負荷の影響—カドミウムの臓器蓄積について—, 昭和55年度富山県衛生研究所年報, 1981. 10.